

校長室だより 9号

笑顔いっぱい いきいき学ぶ 上堺っ子

～学びをつなぐ 心をつなぐ 未来へつなぐ～



令和4年9月21日
横芝光町立上堺小学校
校長 秋山 てるみ

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、台風の影響もあってなかなか過ごしやすい秋晴れがやってきてはくれません。それどころか、「かつてないほど危険」と報道された台風14号は、各地に大きな爪痕を残しました。今回は進路から外れたものの、千葉県も3年前の台風15号の記憶がよみがえり不安が募る連休でした。甚大な被害を受けられた地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、本校では、9月15日に「道徳授業の地域公開」を実施し、保護者の方々をはじめ地域の方々にもたくさんお越しいただきました。これは、本校が令和3年度より千葉県教育委員会から「特色ある道徳教育推進校」の指定を受けたことによる研究の一環としての実施です。

学習指導要領によると、道徳科の目標は「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲及び態度を育てる。」とあります。つまり、道徳科の時間は、教材に登場する人物が迷いや葛藤を感じる場面について、自分の考え方や行動の仕方を友達と話し合うことにより、今の自分の課題やよさに気づいたり、よりよい考え方を生み出したりする時間といえます。道徳教育は学校におけるすべての教育活動をとおして行われるものですが、その要となるのが道徳科です。しかし、子どもたちの心を育む教育は、学校だけで行うことはできません。地域や家庭との連携が不可欠です。そこで、今回の地域公開では、次のような工夫をしました。

◎ ゲストティーチャアの要請

1年「見つけてみよう」：横芝光町のすてきなところを見つけ、町を愛する心を育む授業

【ゲストティーチャー】横芝光町観光まちづくり協会会長さんと「よこびー」

5年「『働く』とはどういうことだろう」：働くことの大切さを知り、公共のために役立とうとする心情を育む授業

【ゲストティーチャー】匝瑳市横芝光町消防本部 救急救命士

6年「人はなんのために働くのだろうか」：働くことで感じる喜びややりがいに気づき、自分も実践しようとする意欲を高める授業

【ゲストティーチャー】東金市内中学校の先生

*そのほかの学年では、話し合いの中に参観した保護者の方が加わるという取組も実施

また、授業後にはアンケートにご協力いただき、あたたかい励ましを多数お寄せいただきました。

11月には、山武地区の先生方を対象に公開研究会を開催する予定です。今後も学校教育目標「笑顔いっぱい いきいき学ぶ 上堺っ子～学びをつなぐ 心をつなぐ 未来へつなぐ～」の達成に向け、家庭や地域の皆様と連携を深めていきたいと考えています。ご協力よろしく願います。